

「東吾妻町 第2期 まち・ひと・しごと創生 総合戦略（案）」に対する パブリックコメントの結果について

①パブリックコメント（意見募集）の募集期間

令和2年4月10日（金）～令和2年4月24日（金）

②意見の提出方法

郵送、持参、FAX、Eメール

③閲覧場所

東吾妻町ホームページ、役場企画課、各支所・出張所

④意見の募集結果

受付件数 3者

提出方法 Eメール3者

⑤意見の提出について

意見総数 18件（うち、今回の案件以外の意見等 9件）

東吾妻町第2期まち・ひと・しごと創生 総合戦略の案に対する意見と町の考え方等【集約表】

パブリックコメント（意見公募）期間：令和2年4月10日（金）から令和2年4月24日（金）まで

受付	No	項目	意見・提言の内容	町の考え方や対応等
1	1	その他	<p>見える化が出来ていない。 重要業績評価や、事業の方向性も並べているだけであり、重み付けが出来ていない。 これは、分析不足により深堀がされていないことが言える。 所詮、少ない人員で実施するには対応効果の有る物を重み付けして実施する必要があるが、出来る人材不足（教育不足）が原因か。 QC手法等を活用して、効果の確認と分析を実施して第2次案に盛り込むのが一流企業の方法である。QC的にするともっと判りやすい。</p> <p>ここからは、個人の意見 町の実情レベルの実態表記と対応が隠されている。 県の市町村健全化判断指数の将来負担比率が悪いし、改善レベルが悪い。（県内でワースト3位？） 町のHPの更新が遅く見易くないし、県との財政リンクに連動していないのは、見せたくないからか。 将来のこの町に住みたい人を他の市町村から集めるには、情報発信と見える化が必要と考える。 具体的に、他より税金が安い、水道・下水料金が安い、介護保険料が安い、等々見える化して目標を決めて実施すれば、分厚い資料を見なくても住みたくなり、HPを見て問い合わせが増えると思う。 今回のコロナウイルス対応でも他市町村より決断が遅く、後出し感が見られる。 今年度のコロナウイルスで住民の給与が減り、税金収入が減って来た時に、負け組市町村は住民へのサービスの予算が減って、他市町村より更に差がつくことが予想される。</p> <p>○提案 ・財政健全化に目標を設定する 5年で〇〇%改善し居住する費用（税金等の改善）を他より安くする。 ・職員給与のカット 目標達成までカットし傷み分けとする。</p> <p>※他市町村より東吾妻町が頑張っていることをPRして目標達成している。 このことをHPで見える化して発信、提案することです。興味を持って貰う。</p>	<p>ご意見は今後の参考にいたします。</p> <p>事業推進に際して具体的な進め方を示していただき、ありがとうございます。行政サービスにおいてもQualityControl（品質管理）手法の視点は重要であり、各事業の推進に際して活用していく必要性があると感じています。また、計画の実施にあたり、内部評価に加えて、ひがしあがつま創生会議での検証・評価を受けつつ各事業を推進してまいります。</p> <p>総合戦略は、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的として、国が平成26年9月に制定した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定するものとなっています。財政健全化につきましては、町の最上位計画である第2次総合計画や、より特化した計画である第2次行財政改革推進プランにおいて目標を設定し、推進しているところでです。</p> <p>具体的にご提案をいただきました「居住する費用を他より安く」につきましては、基本目標2や3の中であるとおり、居住する費用の各種支援制度や基本目標4の子育てに関する支援制度などを推進することで補完できるものと考えます。これに併せて、町で実施している制度を知ってもらう取り組みとして、基本目標1にあるとおり、情報発信を行うことで住む場所として選択してもらえる様な町となれるよう取り組みます。また、財政健全化や職員給与のことににつきましては、先に触れましたとおり、総合戦略とは別に第2次行財政改革推進プランに基づき目標を定め、取り組みを推進すると共に、職員の意識改革や資質の向上を図りつつ、目標達成に向けた各事業の推進に努めてまいります。</p>
2	2	第2章 第1期総合戦略の検証 2-3 住民の意識・ニーズ（18ページ）	<p>（5）空き家等の利用に関する意向調査 空き家について、持ち主に直近での売却や賃貸の意思がなくとも、応相談物件として、積極的に掲載して貰うよう働きかけてはどうか。 写真の掲載があれば、民家としての活用以外にも、掲載ホームページ閲覧者が利活用のアイデア（オフィス、商店、宿泊施設等）を出すことができるのではないか。 東吾妻町の空き家バンクが「現在、物件はありません」の状態が長期（少なくとも2019年末～2020年4月現在）に継続していることから、他の近隣自治体のように制度が機能するよう推進して欲しい。</p>	<p>ご意見は今後の参考にいたします。</p> <p>空き家バンクにつきましては、現在、物件登録者及び利用登録者を募っているところですが思うように進んでいないのが現状です。事業を推進するために制度の理解が得られるよう、粘り強いPRなどが必要であると考えます。その中でご提案いただきましたことを参考に事業を進めていきたいと思っています。 いずれにしても、本町の空き家バンク制度の進展が遅れているとのご指摘を真摯に受け止め、制度運営を進めてまいります。</p>

東吾妻町第2期まち・ひと・しごと創生 総合戦略の案に対する意見と町の考え方等【集約表】

パブリックコメント（意見公募）期間：令和2年4月10日（金）から令和2年4月24日（金）まで

受付	No	項目	意見・提言の内容	町の考え方や対応等
2	3	第2章 第1期総合戦略の検証 2-3 住民の意識・ニーズ（18ページ）	（5）空き家等の利用に関する意向調査 ② 所有する空き家の築年数 1981（昭和56）年改正の「新耐震基準」以前の空き家の中には、古民家といえる空き家もあるのではないかと。状態が良いものについては民泊やお試し移住の物件として活用してはどうか。	ご意見は今後の参考にいたします。 意向調査の結果を踏まえ、所有者の意向に沿った積極的な物件の利活用を進めます。
2	4	第2章 第1期総合戦略の検証 2-3 住民の意識・ニーズ（19ページ）	（5）空き家等の利用に関する意向調査 ④ 空き家活用の課題・障壁 課題・障壁について、「建物の状態があまり良くない」、「改修等の費用負担が難しい」などがあることから、リフォーム、リノベーションについて、個人向けの軽微な補助金に併せ、地域活性化に資する利用に限定し、最低5～10年の事業継続を条件として、町への事業計画書等の提出により、上限額500万円（補助率2/3）の補助金を出してはどうか。他自治体でも同様の取り組みをしている事例が見られる。そのような制度があれば利用してみたい。	ご意見は今後の参考にいたします。 第1期総合戦略を推進する中で空き家を取得する際の助成制度として「定住促進事業住宅取得奨励補助金」が新設され、従前からある「住宅新築改修等補助事業」と併せて多くの方にご活用いただいております。また、補助限度額こそ少ないものの、ご指摘の制度に相当するものとして、令和2年度より「若者起業支援補助金」が新設されております。
3	5	第2章 第1期総合戦略の検証 2-3 住民の意識・ニーズ（13ページ）	（1）町民アンケート調査 ⑤ まちづくりへの関与意向 上記について「積極的に関わりたい」としている方が3.4%いらっしゃると思いますが、この方々のモチベーションは今後のまちづくりの大きな力になるのではと感じます。 そのため、この方々を対象に組織を構成してまちづくりのための企画・運営を行ってはいかがでしょうか。	ご意見は今後の参考にいたします。 町ではこのアンケート結果等に基づき、まちづくりを総合的かつ計画的に行うための附属機関として「ひがしあがつま創生会議」を設置しています。また、より身近なテーマを題材として、町の強みを活かしたPRイベントや食の特産品開発を企画・推進する「おらがまちづくりプロジェクト委員会」を組織しています。 ご意見いただきましたことを参考に既存の組織の更なる活性化を図りつつ、今後のまちづくりを推進していきたいと考えています。
3	6	第4章 基本目標達成に向けた具体的取組 基本目標1 東吾妻を知ってもらおう（40ページ）	施策1-2 継続する関係づくり 1 多様な主体との連携による地域資源の活用と関係づくり ・東洋大学との新たな連携事業実施件数 上記について、KPIが1回と設定されているかと思いますが、大学及び大学生は地域にとって非常に有益なパートナーになりうるかと思えます。そこで例えば下記のような連携ははいかがでしょうか。大学側に積極的に利用してもらおうよう働きかける提案力が重要かと感じました。 1）東洋大学生と競う東吾妻町マラソン大会（駅伝が強い） 2）東洋大学のゼミの研究地域として協力（地域をフィールドワークの場として使ってもらおうなど 例：水仙・川魚・こんにやく等東吾妻ならではのものがベストだが、それ以外でも自然などでもよいかと思えます）	ご意見は今後の参考にいたします。 ご意見いただきましたとおり、「多様な主体との連携による地域資源の活用と関係づくり」の中で連携に関わる包括協定を締結している東洋大学との交流は非常に重要であると考えています。 現状でも同大学陸上競技部の夏季合宿の実施に合わせ、町内の子どもたちを対象としたランニング教室を開催しているところ。また、町の保健センターでは食環境科学部健康栄養学科の臨地実習の受け入れなども行っています。 ご提案いただきました、町ならではのものを活かした各種イベントの開催やフィールドワークの場としての提供などについて、連携に関する協議の中で参考にさせていただきます。

東吾妻町第2期まち・ひと・しごと創生 総合戦略の案に対する意見と町の考え方等【集約表】

パブリックコメント（意見公募）期間：令和2年4月10日（金）から令和2年4月24日（金）まで

受付	No	項目	意見・提言の内容	町の考え方や対応等
3	7	<p>第4章 基本目標達成に向けた具体的取組</p> <p>基本目標1 東吾妻を知ってもらおう（40ページ）</p>	<p>施策1-2 継続する関係づくり</p> <p>1 多様な主体との連携による地域資源の活用と関係づくり</p> <p>⑥ 関係人口創出事業</p> <p>上記について、関係人口は政府が予算を計上しているように、今後全国の自治体で益々重要視されるかと思えます。そこで、</p> <p>1) ふるさと納税者は関係人口のなかで定義できるかとは思いますが、世間の調査によるとふるさと納税者の購入モチベーションは「その地域だから」を「安くお得な買い物ができればよい」という意識が圧倒的に上回っています。つまりは大半の方は、東吾妻町だから購入しているわけではなく、安くお得なものが手に入ればよい、と考えているため、今後東吾妻町と密につながる可能性のある層を関係人口と捉えるならば、ふるさと納税者は関係人口とは別で捉えて施策を打っていったほうがよいかと思えます。（もちろん東吾妻町が好きだからふるさと納税をする方も一定程度いると思えますが、大半はあまり東吾妻町のことを意識してはいないと思えます）</p> <p>2) ふるさと納税については、圧倒的に写真の見せ方が大切かと思えます。ふるさとチョイスの写真を見せると、「もっと素敵に撮れそう」というものがたくさんありますので、売れている商品の写真を参考に見せ方を変えてみたらいかがでしょうか。もっともっと売れると思えます。個人的には「やよいひめ」と「ぐんま名月」は、他のフルーツなどと比較しても全く引けをとらないくらい美味しさを持っていると思うので、頑張ってほしいです。</p> <p>3) 一方、いわゆる関係人口を創出しようと考えた場合、東吾妻町のあらゆる魅力を引き出すためのプロジェクトに興味のある住民+住民以外で興味のある方+東吾妻町役場が合同で立ち上げたいかがでしょうか。関係人口創出においては、</p> <p>① 魅力を見つけること（そもそも魅力がなければ人は東吾妻町に関わらない）</p> <p>② 魅力をしっかり捉えること・場合によっては再定義すること（魅力と単に言われても、魅力が他の地域と比べて強く・大きくないと人は東吾妻町に関わらない）</p> <p>③ <①②>で見つけて捉え直した魅力を最大化させること（強く大きい魅力があってもそのことを知らなければ人はその東吾妻町に関わらない）</p> <p>この3つのポイントが重要だと考えています。この3つのポイントを発揮させるためには、多様な視点を持つ様々なステークホルダーが関わり合うことが必要で、もちろん住民からの視点は言うまでもありませんが、住民以外からの視点が入ることが重要だと考えています。とはいえ、費用をかけて外部からコンサルを雇い入れるなどといったことが必ずしも必要ではなく、むしろ東吾妻町に思いのある外部の方（東吾妻町出身者で今は外に出ている方など）で十分ではないかと思えます。</p>	<p>ご意見は今後の参考にいたします。</p> <p>関係人口の創出は第2期総合戦略での重要なテーマであると考えています。その中で具体的な複数のご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>1) ふるさと納税者の関係人口に関する捉え方につきまして、ご指摘のとおり現状での制度利用者の中には、残念ながら制度の本旨ではない利用をされている方が少なくないことは承知しております。しかし、町と積極的に関わりたい方、または町と関わることが返礼品となっているもの（例えば、町内のイベント参加の権利が返礼品であるなど）を利用された方との関わりを持つという中で今回のKPIを設定させていただきまして。併せて、ふるさと納税を推進していくうえで関係人口の増加が見込めるメニューを増やしていく取り組みも重要であると考えています。</p> <p>2) 上記のふるさと納税の取り組みに際して、ご指摘のことを参考に更に魅力のある「見せ方」についても取り組んでいくことが必要であると考えています。ふるさと納税が関係人口創出の一つの入り口となりえるよう進めていきたいと考えております。</p> <p>3) 平成29年度より、3-5でも触れたとおり、町を知ってもらうため、町の強みを活かしたPRイベントや食の特産品開発を企画・推進する「おらがまちづくりプロジェクト委員会」を組織しています。委員については、町内の各種団体からの推薦と公募により、40歳未満の方を中心に組織され、年間20回程度の委員会を開催しています。この中で町のスローガンを「マイロックタウン東吾妻」とし、ご当地バーガーを開発・販売する仕組みを構築したり、関係人口の増加に繋がる事業を検討・推進しています。しかし、町内での浸透や事業の広がりなど課題は多く、ご提言のように様々なステークホルダーが関わり合うことが必要だと感じています。また、必要に応じて、①魅力を発見する、②魅力を捉える&再定義する、③魅力を最大化するなど今後の事業運営の中で参考にさせていただきたいと考えています。なお、この取り組みにつきましては、現在も町内外を問わず参加いただける方を募集しています。</p>

東吾妻町第2期まち・ひと・しごと創生 総合戦略の案に対する意見と町の考え方等【集約表】

パブリックコメント（意見公募）期間：令和2年4月10日（金）から令和2年4月24日（金）まで

受付	No	項目	意見・提言の内容	町の考え方や対応等
3	8	<p>第4章 基本目標達成に向けた具体的取組</p> <p>基本目標2 東吾妻で働くことができる (42ページ)</p>	<p>施策2-1 産業の振興・雇用の創出</p> <p>1 地域の特性を活かした産業の振興・雇用の創出</p> <p>⑩ 新規就農支援事業</p> <p>上記について、新規就農延べ人数 2名をKPIとして設定されているかと思いますが、単に就農者募集としてもなかなか見つからないのではと考えております。</p> <p>そこで例えば、「やよいひめ」や「さくや姫」など、外から見て魅力的な商品を扱っている事業への「弟子入り」のような見せ方で新しい就農者を増やしたらいかがでしょうか。</p> <p>または、東洋大学の生命科学部などと一緒に商品開発をしたり、ゼミ生のフィールドワークで連携したりと、若手との関係性を作りそこから就農者へとつなげるなどはいかがでしょうか。いずれにせよ就農に対する魅力的な見せ方が重要になるのではと考えます。</p>	<p>ご意見は今後の参考にいたします。</p> <p>⑩ 新規就農支援事業の推進につきまして、具体的なご提言をいただきありがとうございます。新規就農の支援は、受け入れ体制の整備が最重要であると考えています。関係団体と調整しながら、より良い体制整備を進めていきたいと考えています。その中でご提案のありました、より魅力的な見せ方につきまして併せて検討していきたいと思っております。</p> <p>また、東洋大学との連携につきましても、3-6で触れたとおり、フィールドワークの場の提供などと併せて検討していきたいと考えています。</p>
3	9	<p>第4章 基本目標達成に向けた具体的取組</p> <p>基本目標4 東吾妻で家族を持ちたくなる (49ページ)</p>	<p>施策4-1 若い世代の結婚・出産・子育ての支援</p> <p>1 出会いや結婚を応援する環境づくり</p> <p>⑪ ひがしあがつま出会いプロジェクト事業</p> <p>上記について、「出会い」と銘打つとこのタイトルで抵抗感があるのではと思います（もちろんこれは事業名のため、実際は「出会い」という言葉を使わなくてもいいと思いますが）。イベント名については、「出会い」ではなく「つながる」といったような、広くつながりを求める人を集め交流するようなものにしたほうがでしょうか。</p> <p>出会いの場のメリットとしては、うまくいけばそのまま結婚につながる可能性は高いでしょうが、うまくいかなかった場合はそれ以降のつながりが無くなってしまうかと思っております。一方で結婚などは匂わず、単につながる場とすることで、短期的には結婚へ進む人たちは少ないかもしれませんが、そこから友人関係に発展したり、友人関係に発展することでさらにそこから紹介をし合うなどつながりが急激に広がる可能性が高く、結婚へと進展するケースもあるのではと思います。そのため中長期的に見ると人と人が単につながりあう場を設けたほうが結果的に結婚へと進展する確率が高いのではと感じているのですがいかがでしょうか。（また、つながる場のメリットは上記以外にも、地域の人通しが繋がり合うことで地域の雰囲気よくなる、助け合うコミュニティが新たにできる・つながるなど副次的な効果も多々あるのではと感じます）</p> <p>以上になります。</p> <p>もし人口増加に歯止めをかけることに本気でチャレンジする場合は、相当インパクトのある施策・ブランディングが必要かと思っています。応援しております！</p> <p>（例：子育てといえば明石市、日本一組みやすい自治体といえば日南市、など）</p>	<p>ご意見を参考に一部修正します。</p> <p>⑪ ひがしあがつま出会いプロジェクト事業についてご提言いただき、ありがとうございます。</p> <p>1 出会いや結婚を応援する環境づくりについて再度精査した結果、以下のとおり文章を一部修正することになります。</p> <p>なお、実際の事業推進にあたっては、住民の方々のボランティア組織であり、婚活事業を実施している「東吾妻町出会い交流イベント実行委員会」とも調整しながら、ご提言のような婚活事業とはアプローチを変えた「つながる」事業の開催についても検討していきたいと考えております。</p> <p>※1 出会いや結婚を応援する環境づくり (49ページ) 1行目 《修正前》 「結婚を希望する若い世代の出会いの場の提供や充実を図るとともに、」 《修正後》 「結婚を希望する若い世代の「出会い」や「つながり」の場の提供や充実を図るとともに、」</p> <p>また、事業推進に関する具体的なご提案に併せ、町への応援もいただき誠にありがとうございます。若い世代の方々が「つながる」ことは今後の町の元気に「つながる」ものであると思います。この事業につきましても町内外を問わず参加いただける方を募集していますので、興味のある方はご連絡をお待ちしています。</p>